



さんびょう 三錨

本気に 元気に 根気よく
四日市市立富洲原小学校
学校だより NO. 10
令和4年6月6日

●授業参観、懇談会 お世話になりました。

6月3日(金)、授業参観と懇談会が行われました。授業参観では、感染対策
をしていただきながら、お子さんの様子を見ていただきました。「4月の授業
参観と比べて、きちんと座れていました。」「発表を頑張っていたので、(わたし
が)うれしい気持ちになりました。」などの感想を聞かせてもらいました。今回は、担任ではなく専科等の
授業もありました。「音楽、楽しそうでしたね。」という声もいただきました。



懇談会では、「先生の話が聞けてよかったです。クラスの様子もとてもよくわかりました。」「ほかのお
母さんたちの話をきいて参考になりました。」「はじめてでしたが、参加してよかったです。」などの感想
をいただきました。今回は「家庭でのルールづくり」「SNS」「学年でつきたい力」…などのテーマでした
が、「うちは、こんなことが困っているのですが…」など、お子さんに関する悩みを出していただいた
保護者さんもいらっしゃいました。それに対して、「うちのお兄ちゃんのときはね…」と話していただく



場面も見せてもらいました。少し、様子をのぞかせてもらいましたが、いくつか
の学級で笑い声が聞こえてきました。ざっくばらんに話をさせていただいている
ことがよくわかりました。なお、保護者のみなさんからいただいた学校に対する

ご意見や感想も今後の教育活動の中でいかしていきます。

暑いなか、参観および懇談会へのご参加ありがとうございました。

●6年生のみなさん、ありがとう☺

先日の「学校だより『三錨』」にてお伝えさせていただいたように、今年も四日市市では、新型コロナウ
イルス感染症対策を行ったうえで水泳の授業を6月14日から行います。

それに先立ち、6年生の子どもたちがプール掃除をしてくれました。プールの中には1年間の砂や苔な
どがありましたが、たわしやデッキブラシを使って、一生懸命こすってくれました。とてもきれいになりま
した。プールの中だけでなく、プールサイド、プールの溝、更衣室やシャワー、腰洗い槽なども丁寧に掃

除してくれました。そして、プールのまわりに生えている草もとてもきれいに片づけてくれました。大変暑い中でしたが、一生懸命に一人ひとりが働いている姿に「6年生の頼もしさ」を感じました。「暑くて大変だったよね。」と声をかけましたが、「大丈夫ですよ!!」「きれいになったから、気持ち良かったです!」と笑顔でこたえてくれました。6年生のみなさん、ありがとう◎



これで、6月14日からの水泳の授業で、気持ちよくプールを使用できます。

今年度より、水泳の授業への支援をお願いしています。すでに何人かの方から「この日なら、大丈夫ですよ。」「協力させていただきます。」など、ありがたい報告をいただいています。一日でも構いません。ご支援いただける方がいらっしゃいましたら、学校へ連絡ください。よろしくお願い致します。

●メダカの勉強(5年)

5年生の理科の勉強で「メダカ」の学習があります。メダカは、本校の職員室ひがしがわいけ東側の池にたくさんいます。これも以前から飼育していたメダカが卵を産んで繁殖したものです。



今回の理科の授業では、本校のコミュニティ・スクール委員長の伊藤敏彦さんに来ていただき、メダカの卵の観察をしました。伊藤さんは富田一色に在住で、長年、生物や地学等に精通されていて、大学で教えてもらっています。そのような方が近くにいらっしゃるの、子どもたちの学習に力を貸していただきました。



「え～、卵の中でメダカが動いているよ。」「このドクドクしているのは、メダカの心臓なんだって。」「メダカが卵の中で回転しているよ。」など、5年生の子どもたちは、実際にみるメダカの卵に興味津々でした。メダカが卵の中で回転しているのは生まれる直前の様子だそうです。授業が終わった後も、「これはどうかなあ…」とメダカの卵がついていた藻にいた生物を観察する子もいました。まさに、今、国や四日市市がめざしている「主体的・対話的で深い学び」につながる姿です。

本校で進めている「自主勉強」についても同様です。自分で考え、自分が興味を持ったことを、自分で勉強していく力をはぐくみます。これからの社会に求められる大切な力です。